

気候変動時代における環境省の 「『選択と集中』 実行本部」の立ち上げについて

2019年12月20日

1. 趣旨

気候変動問題をはじめ、環境問題は危機的状況を強めているのみならず、他の経済・社会的諸課題とも密接に関わり合っている。こうした環境問題の解決のためには、従来の取組の延長ではない大胆なイノベーションにより、従来の社会システムを大きく変革していくことが求められている。

こうした中で環境省は、脱炭素社会への挑戦や東日本大震災からの復興・環境再生など、新たな役割が広がりつつあるが、その事務事業の中には従来の取組の延長線上に依然としてとどまっているものもあり、「社会変革担当省」としての役割との間に大きなギャップが生じている。

こうした認識の下、環境省のあるべき姿を改めて明確にし、事務事業の選択と集中を進め、社会変革に向けて機動的・機能的な環境省としていくため、環境大臣直属の「『選択と集中』 実行本部」を立ち上げる。

2. 体制

有志職員にも広く参加を呼び掛け、別紙のとおり「『選択と集中』 実行本部」の下に次の3チームを設ける。

① 「環境省のあるべき姿」 実現チーム

これまで環境省が果たしてきた使命と役割を振り返りつつ、現在及び将来の世代のニーズに応えるため、環境省のあるべき姿と今後重点的に取り組むべき施策・事業を明らかにする。

② 「予算の選択と集中」 実現チーム

①の議論を踏まえ、今後、環境省として重点化・拡充すべき事業と廃止・縮小すべき事業を精査し、その結果を今後の環境省概算要求に反映させる。

③ 「働き方改革」 実現チーム

職員の意欲と能力が最大限発揮されるよう、環境省職員の働き方改革に関する新たなプログラムとりまとめ、実行する。

3. スケジュール

来年1月にキックオフ、来年6月末頃を目途に方向性をとりまとめ

1. 「選択と集中」実行本部

本部長	環境大臣
本部長	事務次官、地球環境審議官、総合環境政策統括官、大臣官房長、各チームメンバー、職員有志
事務局長	大臣官房総合政策課企画評価・政策プロモーション室長
事務局	大臣官房総合政策課

2. 実現チーム

① 「環境省のあるべき姿」実現チーム

チーム長	政策立案総括審議官
チーム員	大臣官房総合政策課長、同会計課長、職員有志
事務局	大臣官房総合政策課

② 「予算の選択と集中」実現チーム

チーム長	大臣官房会計課長
チーム員	地球環境局地球温暖化対策課長、職員有志
事務局	大臣官房会計課

③ 「働き方改革」実現チーム

チーム長	サイバーセキュリティ・情報化審議官
チーム員	大臣官房秘書課長、職員有志
事務局	大臣官房秘書課